

くらし

合併処理浄化槽補助金制度のお知らせ

申し込み・問い合わせ 水処理課 ☎72-5667

生活排水による河川・海域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置および維持管理費に対する補助制度を実施しています。

合併処理浄化槽設置整備事業補助金

対象地域 市内全域(高瀬・三野・詫間・仁尾町の集落排水処理事業実施区域は除く)

補助対象 専用住宅および併用住宅に、合併処理浄化槽を設置する場合、または単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する場合

Table with columns: 区分 (専用住宅, 併用住宅), 高度処理型浄化槽 (10人槽, 7人槽, 5人槽), 通常の合併処理浄化槽 (10人槽, 7人槽, 5人槽). Rows show subsidy amounts in yen.

専用住宅の単独処理浄化槽を撤去し、合併処理浄化槽に変える場合は、撤去費用として20万円を上限に、専用住宅補助金と合わせた

目指せ男女共同参画社会

No.35

6月23日(月)～29日(日)は男女共同参画週間です。今年のキャッチフレーズは「家事場のパパチカラ」



男女が、お互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成に向け、男女共同参画社会基本法が、平成11年6月23日に施行されました。

高瀬町公民館主催 「男女共同参画推進講演会」開催

日時 6月22日(日) 午後1時30分～3時

場所 高瀬町農村環境改善センター

講師 白井 文さん



この講演会は、市建設工事入札参加資格申請の評価項目加算対象外です。お問い合わせ 高瀬町公民館 ☎72・5339

額を補助します。撤去費が20万円に満たない場合は、実際にかかった費用の千円未満を切り捨てた額を補助します。

合併処理浄化槽維持管理費補助金

対象 市内に設置している専用住宅の合併処理浄化槽(20人槽以下)に対して適正な維持管理(保守点検・清掃・法定検査)を同一年度に実施した人

補助金額 30,000円

対象期間

- 平成25年4月1日から平成26年3月31日までに実施した人(平成27年3月31日申請締め切り)
平成26年4月1日から平成27年3月31日までに実施した人

必要書類

- 水処理課、環境衛生課、各支所にある補助金交付申請書
保守点検、清掃および法定検査の領収書の写し
公益法人香川県浄化槽協会による法定検査の検査結果書の写し(「不適正」でないもの)

その他、申請者の振込先の口座が確認できるものと認め印が必要です。

提出先

水処理課、環境衛生課、各支所

文化財を訪ねて 50



▲天霧城跡遠景(山のほぼすべてが城跡)

天霧城跡

(平成2年5月16日指定 国史跡)

戦国時代の武将たちは、日常は平地の館で生活し、戦時になると近隣の山に城を築いていました。当時の城は天守閣のような華やかな城ではなく、軍事的な目的で作られた実用的な城です。市内でもさまざまな場所に山城が築かれています。

その中でも、県内屈指の規模を誇っていた城跡が、三野町大見、多度津町奥白方、善通寺市碑殿町にまたがる天霧城跡です。それぞれの市町から城跡へ登れますが、三野町には弥谷寺から城跡へと続く登山道があり、道なりに進んでいくと頂上まで登ることができます。天霧城は貞治3年(1364年)～天正13年

くらし 農業者年金の現況届はお忘れなく

お問い合わせ 農業委員会 ☎73-3046

農業者年金の経営移譲年金や農業者老齢年金を受給している人は、現況届を必ず提出してください。提出を忘れた場合、年金の支払いが差し止められることがありますので、ご注意ください。

現況届が手元に届く時期 5月末ごろに、農業者年金基金から郵送してきます。

提出期限 6月中に農業委員会または各支所へ提出してください。

水泳は、年齢を問わず楽しめます。プールで泳ぎ、歩いて、あなたも体力作りを始めてみませんか。

期間 7月1日(火)～8月31日(日) 時間 午前10時～午後8時

※毎週月曜日休館。ただし、月曜日が祝日の場合は、火曜日休館

Table with columns: 回数券(11回), 使用料(1回), 小・中学生, 高校・大学・一般. Rows show prices: 2,000円, 200円, 3,000円.

※幼児・見学者は無料

利用者は、水泳帽子をご持参ください。なお、小学3年生以下の子どもは保護者同伴で、幼児(小学生未満の子ども)には必ず保護者が付き添ってください。

(1585年)まで西讃一帯を治めていた香川氏が代々使用していたと考えられています。戦時中以外は、城主や家臣団は多度津町の館で生活し、戦になると天霧城に登ったとされています。

天霧城は標高382mの天霧山の急峻な地形を利用して築かれました。城域は1200m×560mに及び、屋敷などを建てるために削りだした曲輪とよばれる平坦地は大小合わせて70を超えと言われています。昭和49年と51年、56年に発掘調査が行われ、土師器、備前焼、瀬戸美濃焼、輸入陶磁器などが出土しており、特に輸入陶磁器が豊富に見られたことが特徴的です。

天霧城は、天正13年(1585年)に、豊臣秀吉による四国侵攻によって主を失い、その役割を終えたと言われています。現在は、三豊市・善通寺市・多度津町による「二市一町天霧城跡保存会」が登山道の草刈りや清掃、案内板の設置などを行い、この貴重な城跡を今に受け継いでいます。



▲本丸跡

お問い合わせ 生涯学習課 ☎62・1113